

日 程 表 (第1日目 11月13日(木))

時間	第1会場：メインホール	座長
8:55	開会の辞	
9:00 } 9:40	A-1 頭頸部および肺腫瘍の共通点と相違点に着目した診断病理学的研究 佐々木英一(愛知県がんセンター遺伝子病理診断部)	山元 英崇 (岡山大学)
9:40 } 10:20	A-2 デジタルパソロジーを活用した胃癌の病理学的研究 阿部 浩幸(東京大学大学院医学系研究科人体病理学・病理診断学)	吉澤 明彦 (奈良県立医科大学)
10:20 } 11:00	A-3 胸膜中皮腫における免疫微小環境の特徴、免疫逃避・腫瘍進展に係る 分子群の病理学的意義 稲熊 真悟(名古屋市立大学大学院医学研究科臨床病態病理学)	菰原 義弘 (熊本大学)
11:00 } 11:40	A-4 精巣・前立腺腫瘍の発生進展に関する病理組織学的・分子生物学的研究 宮居 弘輔(防衛医科大学校病院検査部)	大橋 瑠子 (新潟大学)
11:40 } 12:00	B-1 諸臓器の胃型粘液産生腫瘍における糖鎖修飾消失の、臨床病理学的意義 山ノ井一裕(慶應義塾大学病院病理診断科)	大橋 健一 (東京科学大学)
12:00 } 12:20	B-2 組織形態像に基づく口腔扁平上皮癌の予後解析 天野 雄介(自治医科大学病理学講座 / 千葉県がんセンター臨床病理部)	田沼 順一 (新潟大学)
12:30 } 13:20	ランチョンセミナー 1 会場：第1会場(メインホール) 「乳がんの診断と治療をつなぐ -抗HER2療法とHER2病理診断の進展-」 LS1-1 乳がんにおける抗HER2療法の変遷 鶴谷 純司(昭和医科大学先端がん治療研究所) LS1-2 乳がんにおけるHER2病理診断 -最近の話題と判定のポイント- 坂谷 貴司(東京慈恵会医科大学病理学講座・病院病理部) 共催：第一三共株式会社メディカルアフェアーズ本部	堀井 理絵 (聖マリアンナ医科大学)
	ランチョンセミナー 2 会場：第2会場(302) LS2 進化する大腸癌薬物療法～病理医が切り拓く個別化治療～ 高島 淳生(国立がん研究センター中央病院消化管内科) 共催：小野薬品工業株式会社 / ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社	関根 茂樹 (慶應義塾大学)
	ランチョンセミナー 3 会場：第3会場(301) 「腎癌術後補助療法における病理診断と連携」 LS3-1 ハイリスク腎癌に対する術後補助薬物療法の実践 ～適応決定に必要な情報とは?～ 北村 寛(富山大学学術研究部医学系腎泌尿器科学) LS3-2 ハイリスク腎癌の治療選択に寄与する病理学的因子の再考 大江 知里(兵庫医科大学病院病理診断科) 共催：MSD 株式会社	佐々 直人 (愛知医科大学)
	ランチョンセミナー 4 会場：第4会場(406) LS4 がん遺伝子パネル検査の選択における分子病理医の役割 —FoundationOne CDxの持つメリット— 細田 和貴(愛知県がんセンター遺伝子病理診断部) 共催：中外製薬株式会社	都築 豊徳 (愛知医科大学)

13:30 } 14:30 1単位	特別講演 1 SL1 今日から使える医療統計 新谷 歩 (大阪公立大学大学院医学研究科医療統計学) 会場：第1会場(メインホール)	大江 知里 (兵庫医科大学病院)
13:30 } 14:30	スポンサードセミナー SS 病理診断においてリンパ腫との鑑別が問題となる病変 竹内 賢吾 (公益財団法人がん研究会がん研究所) 共催：日本新薬株式会社メディカルサイエンス部 会場：第2会場(302)	佐藤 康晴 (岡山大学 学術研究院)
14:40 } 17:10 2単位	シンポジウム 1 「病理学再興-病理学を再び医学の中心に-」 SY1-1 急性骨髄性白血病におけるクロマチン構造変化の全貌と エピゲノム不均一性 小川 誠司 (京都大学大学院医学研究科腫瘍生物学) SY1-2 オルガノイドで病気の「かたち」を再構成する 佐藤 俊朗 (慶應義塾大学医学部医化学) SY1-3 固形癌におけるがんゲノム医療の現状と展望 - SCRUM & CIRCULATE-Japan の成果から紐解く 吉野 孝之 (国立がん研究センター東病院副院長 / 国際臨床腫瘍科 / 医薬品開発推進部門) SY1-4 生体内リプログラミング技術によるがん化・老化・組織再生における エピゲノム制御機構の解明 山田 泰広 (東京大学大学院医学系研究科分子病理学分野) SY1-5 病理×AIで切り開く知の未来：科学的発見への道筋 山本陽一朗 (理化学研究所革新知能統合研究センター 生命空間医科学チーム) 会場：第1会場(メインホール)	榎本 篤 (名古屋大学) 谷口 浩二 (北海道大学)
17:20	インターナショナルポスターセッション / ポスターセッション 会場：ポスター会場1(405)・ポスター会場2(408)・ポスター会場3(409)	
18:15	社員総会	会場：第1会場(メインホール)

単位：領域講習 指定単位分の受講証を配布いたします。

日 程 表 (第2日目 11月14日(金))

時間	第1会場：メインホール	座長
8:00 } 8:50	モーニングセッション 会場：第2会場 (302) 「USCAP & ECP のリーダーからのメッセージ：夢の実現へ向けて」 MS-1 Holger Moch (Department of Pathology and Molecular Pathology, University Hospital Zurich, Switzerland) MS-2 Adeboye O. Osunkoya (Departments of Pathology and Laboratory Medicine, and Urology, Emory University School of Medicine) 主催：日本病理学会 国際交流委員会 協賛：メドメイン株式会社	小無田美菜 (国際医療福祉大学) 加留部謙之輔 (名古屋大学)
9:00 } 9:40	A-5 婦人科がんの本態解明と治療法開発に資するオルガノイドモデルの開発 丸 喜明 (千葉県がんセンター研究所精密腫瘍モデル研究)	岩下 寿秀 (浜松医科大学)
9:40 } 10:20	A-6 メルケル細胞癌をモデルとした腫瘍病態の体系的研究 岩崎 健 (九州大学病院病理診断科・病理部)	高橋 智 (名古屋市立大学)
10:20 } 11:00	A-7 がんゲノム病理解析プラットフォームの開発 西原 広史 (慶應義塾大学医学部がんゲノム医療センター)	牛久 哲男 (東京大学)
11:00 } 11:40	A-8 膵胆道癌の分子病理学的検討～前癌病変の胃型形質発現を出発点として～ 田中麻理子 (東京大学医学部附属病院病理部)	相島 慎一 (九州大学)
11:50 } 12:40	ランチョンセミナー 5 会場：第1会場 (メインホール) 「バイオマーカーが変える集学的治療： 進行胃がんの精密医療を支える病理医と臨床医の連携」 LS5-1 胃癌診療バイオマーカー検査のリアル 沖 英次 (九州大学病院先端医工学診療部) LS5-2 胃癌バイオマーカー検査の実態から考えるベストプラクティス 牛久 哲男 (東京大学大学院医学系研究科人体病理学・病理診断学分野) 共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社	九嶋 亮治 (滋賀医科大学)
	ランチョンセミナー 6 会場：第2会場 (302) 「小細胞肺癌：診断と新しい治療戦略」 LS6-1 小細胞肺癌における新知見と病理診断の進展 林 大久生 (順天堂大学大学院医学研究科人体病理病態学講座) LS6-2 小細胞肺癌治療のパラダイムシフト 吉田 達哉 (国立がん研究センター中央病院呼吸器内科 / 先端医療科) 共催：アムジェン株式会社メディカルアフェアーズ本部	谷田部 恭 (国立がん研究センター中央病院)
	ランチョンセミナー 7 会場：第3会場 (301) LS7 転移性去勢抵抗性前立腺がん治療を変える DNA 修復異常診断： 病理診断に求められる新たな役割 加藤 真史 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院泌尿器科) 共催：アストラゼネカ株式会社	都築 豊徳 (愛知医科大学)
	ランチョンセミナー 8 会場：第4会場 (406) LS8 肺癌取扱い規約第9版および中皮腫瘍取扱い規約第2版 ―改定内容を中心に― 廣島 健三 (東京女子医科大学八千代医療センター病理診断科 / 袖ヶ浦さつき台病院診療部) 共催：独立行政法人環境再生保全機構	岡 輝明 (複十字病院)

12:50	表彰式	会場：第1会場（メインホール）	
13:20 } 14:20 1単位	病理診断学賞講演 DPAL リンパ腫をどのように病理診断すべきかーリンパ腫の統合的病理診断ー 中村 直哉（東海大学医学部基盤診療学系病理診断学）	会場：第1会場（メインホール）	竹内 賢吾 （がん研究会 がん研究所）
14:30 } 15:30 1単位	特別講演2 「海外での病理医教育」 SL2-1 Pathology Education System in the European Union and Switzerland Holger Moch (Department of Pathology and Molecular Pathology, University Hospital Zurich, Switzerland) SL2-2 Pathology Education System in the United States Adeboye O. Osunkoya (Departments of Pathology and Laboratory Medicine, and Urology, Emory University School of Medicine) 共催：東海がん専門医療人材養成プラン	会場：第1会場（メインホール）	都築 豊徳 （愛知医科大学）
14:30 } 16:30	スポンサードシンポジウム 「病理とゲノミクスとつなぐ空間トランスクリプトーム解析の今」 SSY-1 Visium HD による腎病理組織の空間トランスクリプトーム解析 ー 紅麹サプリメント関連腎障害を読み解く 谷口 浩二（北海道大学大学院医学研究院統合病理学教室） SSY-2 Imaging-based spatial transcriptomics によるてんかん原生機構へのアプローチ 宮下 聡（国立研究開発法人国立精神神経医療研究センター） SSY-3 次世代空間トランスクリプトーム解析が卵巣癌の発癌過程を解明する 西原 広史（慶應義塾大学医学部がんゲノム医療センター） パネルディスカッション 共催：株式会社 CyberomiX / 10x Genomics	会場：第2会場（302）	渡辺 亮 （株式会社 CyberomiX）
14:30 } 16:00	ハンズオンセミナー HS 胃癌 CLDN18 IHC 検査と消化器癌 MMR IHC 検査のスキルチェックセミナー ー 当院での経験に基づいた Tips ー 高松 学（公益財団法人がん研究会がん研究所病理部） 共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社	会場：第4会場（406）	桑田 健 （国立がん研究 センター 東病院）
14:30 } 16:30	日本神経病理学会企画 「神経病理学の基礎と応用」 JSN-1 アルツハイマー病の神経病理診断 岩崎 靖（愛知医科大学加齢医科学研究所） JSN-2 神経疾患の生検病理としての筋病理診断 倉重 毅志（NHO 呉医療センター脳神経内科） JSN-3 筋萎縮性側索硬化症の病理診断の進め方 陸 雄一（愛知医科大学加齢医科学研究所） JSN-4 周産期脳障害のアプローチ法 宮原 弘明（愛知医科大学加齢医科学研究所） JSN-5 神経変性性疾患と脈絡叢 上野 正樹（香川大学医学部・病理病態生体防御医学講座・炎症病理学） オーガナイザー：上野 正樹（香川大学炎症病理学） 岩崎 靖（愛知医科大学加齢医科学研究所） 共催：日本神経病理学会	会場：第3会場（301）	

15：40 ～ 17：40	シンポジウム2 「必要なのか、取り扱い規約！」 会場：第1会場（メインホール） SY2-1 癌取り扱い規約利用状況アンケートの注目点 —規約の制作者、利用者、取扱い規約委員会への課題— 寺本 典弘（四国がんセンター病理科・がん予防疫学研究部） SY2-2 泌尿器がん取り扱い規約の必要性 賀本 敏行（宮崎大学医学部泌尿器科） SY2-3 鳴かぬなど落ちてくまいぞホトトギス 市原 真（JA北海道厚生連札幌厚生病院病理診断科） SY2-4 病理研究者からみた癌取り扱い規約の意義と発展性 内木 綾（名古屋市立大学大学院医学研究科実験病態病理学） SY2-5 大学の立場から：学生教育における癌取り扱い規約の活用 笹島ゆう子（帝京大学医学部病院病理部） 藤井 誠志 （横浜市立大学） 南口早智子 （藤田医科大学）
17：40	閉会の辞
18：00 ～ 19：30	コンパニオンミーティング1（日本肺病理学会（JPPS）） 会場：第1会場（メインホール） 「肺神経内分泌腫瘍：最新研究と日常病理診断との橋渡し」 CM1-1 肺神経内分泌腫瘍のアップデート 神保 直江（神戸大学医学部附属病院病理診断科） CM1-2 肺腺癌および神経内分泌癌における TTF-1 および HNF4 α の発現 松原 大祐（筑波大学医学医療系診断病理学研究室） オーガナイザー：元井 紀子（埼玉県立がんセンター、ミーティング幹事） 羽場 礼次（香川大学、JPPS 会長） 二宮 浩範 （がん研究会 がん研究所） 南 優子 （茨城東病院）
	コンパニオンミーティング2（第16回妊産婦死亡症例病理カンファレンス） 会場：第2会場（302） 教育講演 悪性腫瘍による母体死亡例における分娩経過の検討 桂木 真司（宮崎大学医学部附属病院産婦人科） 症討検討1 羊水塞栓の一解剖例 ※ポスターセッション P-59 参照 中島 直樹（宇治徳洲会病院病理診断科） 症討検討2 診断に苦慮した妊娠オウム病の一剖検例 ※ポスターセッション P-58 参照 添田 李子（長崎医療センター病理診断科） オーガナイザー：竹内 真（大阪母子医療センター病理診断科） 若狭 朋子（近畿大学奈良病院病理診断科） 阿萬 紫（宮崎大学医学部病理学講座構造機能病態学分野）

単位：領域講習 指定単位分の受講証を配布いたします。

オンデマンド配信（Web開催）	
特別講演、シンポジウム、病理診断学賞講演、学術研究賞講演、症例研究賞講演などの学術講演会を大会ホームページにて配信	
配信期間：2025年11月25日（火）正午～12月22日（月）正午	
Webセミナー WS1 病理医の立場から見た免疫染色業務の効率化とその効果について 羽賀 博典（京都大学医学部附属病院病理診断科） WS2 大腸癌におけるバイオマーカー検査の最新情報～MMR検査における留意点を中心に 桑田 健（国立がん研究センター東病院遺伝子診療部門） 共催：アジレント・テクノロジー株式会社	

※社員総会・表彰式・ポスターセッション・ランチョンセミナー・スポンサードセミナー・ハンズオンセミナー・コンパニオンミーティングは現地開催のみ